### 【に】

1　R－にV  
①ちにったのがついにやってきた。  
②はれにれて、にいたときはをぎていた。  
③のをんで、はきにいた。  
じをりし、そこでべられるやのがにしいことをする。のにいられることがい。  
2　V－るにV－れない  
①がりないのでやめるにやめられない。  
②ものすごくおかしなだったけど、みんながまじめなをしていているので、うにえなかった。  
③はうにえないをしてきた。  
④はするし、にはげられるし、くくにけないちだ。  
⑤ここまでりしてしまっては、いまさらくにけない。  
じをりしいて、「そうしようとってもできない」「どうしても…することができない」というをす。③～⑤はで、③④はそうしたくてもそれができないぐらいひどいであること、⑤はやめることができないであることをす。(423)

### 【にあたって】

Nにあたって　  
V－るにあたって  
①にあたってひとことごをしげます。  
②にあたってをち、のがるぎないものであることをしあった。  
③にむにあたって、のをにした。  
④おさんをおにすにあたってのおちはいかがでしたか。  
⑤しいをめるにあたってのは、のでとかできた。  
やのをけて、「ものごとのとなるようななにさしかかって」というをす。…にさいして。やなどのったとしていることがい。さらにったものとして「にあたり（まして）」をいることもある。をするは④⑤のように「…にあたってのN」というになる。(423)

### 【にあたらない】

⇾【にはあたらない】

### 【にあたり】

Nにあたり　  
V－るにあたり  
①のにあたり、をした。  
②のをするにあたりまして、からのごをりましたことをします。  
「にあたって」のさらにったい。⇾【にあたって】  
(424)

### 【にあって】

1　Nにあって  
①のにあって、をすこともままならない。  
②というにあって、るもしんでそのにりんでいる。  
③というにあって、をいていたとはせない。  
④はにあって、なおものことをにかけている。  
をけて、「そこでされたのもとで」のをす。そのとそれにべられることがらとのはゆるやかなもので、のにじてのものもえられる。①と②はの。③と④はので、「そのにありながら／あるにもかかわらず」という。  
2　Nにあっても  
①はにあっても、まげずにっている。  
②かいのにあっても、のはたされなかった。  
③はのにあっても、のをいけた。  
をけて、「そこでされたのにおかれていても」のをす。には、そのでこるとされることとはいうことがらがく。きことば。  
3　Nにあっては＜状況＞  
①こんなのにあっては、ながにるなど、にないことだ。  
②いつがこるかれないにあっては、るいをいくことなどできない。  
③がにあっては、になをけさせることもできなかった。  
④わがにあっては、がにできるをにしている。  
⑤「の」といわれたもにあってはきであった。  
やをすをけて、「そこでされたのでは」のをす。…において。「の」や「」などがしいことをすがいられたは、ろにましくないをすがくが、そうでないときは、④や⑤のようにに「そこにおいて」というをす。きことば。  
4　Nにあっては＜人＞  
①さんにあっては、どんなでもてそうにありませんね。  
②あのにあっては、もまことといくるめられる。はだ。  
③あなたにあってはかなわないな。しょうがない。おみりにしましょう。  
をすをけて、そのにはもかなわないというをすのにいる。③はのないやなをわりきれなかったので、をからかうようなニュアンスがじられる。「…にかかっては」ともう。(424)

### 【にいたる】

きことばな。  
1　…にいたる　  
N／V　にいたる  
①このはをってれ、やがてはにる。  
②はでをけ、やがてになるにる。  
③をめてするにったは、のというものをつめなおしてみたいとったことであった。  
④さんざんんだ、をめてでのをするというにった。  
「する」というをす。①のようににあるにするもあれば、②③④のようにことがらやえなどのの、あるやにするもある。きことばなかたい。  
2　Nにいたるまで  
①にったものからハンドバッグのにるまで、しくべられた。  
②クラスからにるまで、すべてのにがされた。  
③テレビのによって、などのからのにるまで、ほぼじようながきるようになった。  
「まで」とほぼじをすが、かいすみずみまでののことがらをうのにう。「…から」とともにわれることがい。  
3　…にいたって　  
N／V　にいたって  
①にって、めてしたビデオのがいものにならないことがわかったが、すでにかった。  
②にはっきりされるにって、ようやくのいにがあることにづいた。  
③するにって、やっとにったがしえてきたようながする。  
「あるなにするときになって」というをす。ろに「ようやく／やっと／めて」などのをうことがい。  
4　Nにいたっては  
①もものにし、にいたっては、そんなことよりくしろといすだった。  
②がわってからというもの、ももかずで、にいたってはがするである。  
③のにして、どのものもしようとせず、にいたってはどこかよそのにしてもらえたらなどとうである。  
④ことここにいたっては、にをむしかないのではないだろうか。  
マイナスのことがらがいくつかあり、そのでもなについてべるのにう。④の「ことここにいたっては」は「ここまでがになったら」というの。  
5　…にいたっても  
N／V　にいたっても  
①がというにっても、なおたちがからされているとじてわないもなくない。  
②をするにっても、まだののがあやふやながいる。  
③でのがから10にまでがるにっても、はにをさせたがった。  
「あるなにしても」というをす。ろに「まだ／なお／いまだに」などのをうことがい。  
(424)

### 【にいわせれば】

Nにいわせれば  
①あのにわせれば、こんなはまったくいものにならないということらしい。  
②きのいとこにわせれば、このはとがにした、らしいだというだ。  
③あなたはにっているかもしれないが、にわせればそんなはのおびみたいなものだ。  
④にわせると、つかったのは、のをえるかもしれないようななものなんだそうだ。  
をすにいて、「そののでは」というをす。そのがにちたいものであるということをうのにう。(427)

### 【において】

1　Nにおいて＜＞  
①はにおいてわれた。  
②そのにおいて、がをすのはしいことであった。  
③のにおいてなことがらかになった。  
④のにおいて、のにる（＝よりれている）はいない。  
⑤のにおいてをえるのはりなくのいることだった。  
ややをすをけて、あるがこったり、あるがしたりするときのをす。「で」のように「で」にきかえられるものがいが、「で」よりもまったじをえる。をするときは、「における」のように「NにおけるN」というになる。  
2　Nにおいて＜＞  
①けのにおいてにかなうものはいない。  
②においてそのはしい。  
③のしさにおいてはこのがれている。  
④をするというにおいてはだが、をするというにおいてはくする。  
「それにして」「そので」というをす。ろにはそのものごとにするやのものとのするがることがい。  
(427)

### 【におうじた】

⇾【におうじて】

### 【におうじて】

Nにおうじて  
①のにじてをげる。  
②きにじてをする。  
③にじてをえる。  
④にじたをとる。  
⑤にじたをえる。  
「そののやにって」というをす。ろには「する」「をえる」など、それにったをじさせることをすがく。をするときは④⑤のように「NにおうじたN」となる。(428)

### 【におかれましては】

Nにおかれましては  
①におかれましては、おそうでなによりです。  
②におかれましては、ますますの、どもんでおります。  
のをすをけて、そのにかって、などについてのをねたりべたりするときにいる。にまったの。(428)

### 【における】

NにおけるN  
①におけるちをする。  
②におけるがめられた。  
③におけるのがされた。  
をするのにいて、あるがこったり、あるがしたりするのとなるややなどをす。③のように、のをすは「での」ときかえられることがあるが、「での」よりもまったじをえる。をするときには「においてちをした」のように「において」となる。(428)

### 【にかかったら】

⇾【にかかっては】

### 【にかかっては】

Nにかかっては  
①のにかかってはもちできない。  
②あなたにかかってはもとはえなくなる。  
③にかかってはいつもしらないうちにイエスとわされてしまう。  
やのをすにいて、それをし、そののやそののにしてはもかなわないというがけられる。「…にあっては」ともえるが、「…にかかっては」のはかなわないとじるからのでることができるがなっている。  
にかかってはもちできないさ。  
にあってはもちできないさ。  
「…にかかったら」「…にかかると」とうこともある。  
(428)

### 【にかかると】

⇾【にかかっては】

### 【にかかわらず】

1　Nにかかわらず  
①はにかかわらずする。  
②にかかわらずれたをしたい。  
③このクラブはやにかかわらず、どなたでもできます。  
、、など、なりをんでりつをけて、「そのいになく」「そのいをにせずに」というをす。  
2　…にかかわらず　  
V－るV－ないにかかわらず　  
A－いA－くないにかかわらず  
①のあるなしにかかわらず、だれでもすることができる。  
②のししにかかわらずのはされるだろう。  
③するしないにかかわらず、することにがあるとう。  
④がするかしないかにかかわらず、はこのにこうとう。  
するつのことがらをすをけて、「それらになく」「それらをとせずに」というをす。「のあるなし」「のしし」のようにとなっている、は「の」をうが、それのは「が」をいるのが。④のように「…か…ないか」というをとることもある。(429)

### 【にかかわる】

Nにかかわる  
①のにかかわるをするにはそれなりのがいる。  
②こんなひどいをったらのにかかわる。  
③のがのにしていたかどうかはっきりさせなければならない。これはのにかかわるなだ。  
④たとえでもしそうだなどというがまると、のにかかわる。  
⑤あんなにいつまでもかかわっていたら、あなたまでをとしてしまいますよ。  
⑥このにかかわって、どものについてくえるようになった。  
⑦がきてからたった。いつまでもこのにかかわっているわけにはいかないが、いまだにはつかまっていない。  
「をおよぼす」あるいは「する」というをす。①～④は「をおよぼす」という。には「、、、」など、のおよぶものをすものがわれる。⑤～⑦は「する」、「つながりをつ」というで、「」「」「」などをすものがいられる。(429)

### 【にかぎったことではない】

⇾【かぎる】2

### 【にかけたら】

Nにかけたら  
①スピードにかけたら、そののにるはいない。  
②にかけたら、はのので5のにるだろう。  
「そのことにしては」というをす。「Nにかけては」ともう。⇾【にかけて】2  
(430)

### 【にかけて】

1　NからNにかけて  
①はからのにかけてするもようです。  
②からにかけてをとるつもりだ。  
③からにかけてのがのにわれた。  
やをすをけて、「つの・の」というをす。をすの、①のようにつのののあるをすと②のようにそののをすがある。「…から…まで（に）」とのだが、それほどにをせずに、つのにまたがったやをとにするにいる。  
2　Nにかけて  
①にかけてはのにでるものはいない。  
②にかけてはよりれているというがある。  
③はなだが、にかけてのはあまりできない。  
「そのことにしては」というをす。ろにはのやなどにしてなんらかのをべるがくことがい。をするときは③のように「NにかけてのN」となる。  
3　Nにかけて（も）  
①にかけてもこのはりす。  
②のにかけて、らをけしてみせます。  
③にかけてもはる。  
なで、「」「」「」「」など、のやをにするものをすがいられて、「がなんでもに」といをすのにいられる。ろにはやをすがく。(430)

### 【にかこつけて】

Nにかこつけて  
①にかこつけてヨーロッパをしんできた。  
②にかこつけてもせずにぶらぶらしている。  
③にかこつけてなをいっきりんできた。  
ことがらをすをけて、「それがのやでもないのにそれをにして」というをす。(431)

### 【にかたくない】

Nにかたくない  
①このままインフレがくとがし、のがうくなることはにかたくない。  
②からもからもされたが、グループのいにいをめそうになっただろうことはにくない。  
③なぜがあのようなにったのか、ののをよくいてみればにかたくない。  
に「／にかたくない」のかたちでうのがで、にできる、だれがえてもらかだというをす。きことばなかたい。(431)

### 【にかまけて】

Nにかまけて  
①にかまけてちっとものをしてやらない。  
②びにかまけてしようともしない。  
③のにばかりかまけていては、はへまない。  
ことがらをすをけて、あることにをけてほかのことにをけないというをす。ろにはのことをなおざりにしてみないというなのがくことがい。(431)

### 【にかわって】

Nにかわって  
①にかわって、があいさつします。  
②のにかわって、がした。  
③ごいただけなかったさんにわって、ごのにとをけっていただきます。  
④21には、これまでのにわって、アジアがをリードするようになるのではないだろうか。  
⑤さんがをするとなると、にわるをてなければならない。  
あるものがするはずのことをのものがするというをす。をするは⑤のように「NにかわるN」となる。「…のかわりに」ともう。(431)

### 【にかわり】

Nにかわり  
①のにかわり、がいたします。  
②21には、これまでのにわり、アジアがをリードするにつというがあるが、まだのがいとわざるをない。  
「…にかわって」のあらたまったきことばない。⇾【にかわって】  
(432)

### 【にかわる】

⇾【にかわって】

### 【にかんして】

Nにかんして  
①そのにしてからがあった。  
②にしては、がはくのとをもっている。  
③そのにしてしたいことがある。  
④にしてのをんでいる。  
⑤そのにしてのはまだけていない。  
⑥コンピュータにするのはなものだ。  
⑦にするをするようにめられた。  
「それにして」「それについて」というをす。をするときは④～⑦のように「NにしてのN」や「NにかんするN」となる。「について」のややまったい。(432)

### 【にかんする】

⇾【にかんして】

### 【にきまっている】

N／A／V　にきまっている  
①こんないたずらをするのはあいつにきまっている。  
②きっともしたがるにまっている。  
③そんなことをったらがをくするにまっているじゃないか。  
④A：さん、ちゃんとにまにあったかしら。  
B：30もくていったのだから、したにまっているじゃないの。  
「ずそうにいない」というしののこもったをす。きのといっているをするときは「にまっているじゃない（か／の）」となる。「にちがいない」のしことばない。(432)

### 【にくい】

R－にくい  
①あののはがでかりにくい。  
②はハイヒールではきにくい。  
③ではちょっとしにくいなのです。  
④あんなえらいのところにはなかなかにきにくい。  
イとじようにする。のにいて、そうすることがむずかしい、にはできないというをす。①②のようにになや③④のようににななどがある。「かりにくい」などのをいては、「く」「す」などなをすにいる。  
あのはびにくいです。  
あのをばせるのはむずかしい。  
のをすことばに「R－やすい」がある。  
(433)

### 【にくらべて】

Nにくらべて  
Vのにくらべて  
①にべてはのがいい。  
②にべてのががあるとわれる。  
③ワープロをうと、でくのにべてもきれいだしい。  
④をするのにべて、のへくのはもがかかる。  
⑤にべるとのががい。  
⑥ジョギングにべると、はでにもいいということだ。  
「XにくらべてY」「XにくらべるとY」ので、XとしてYについてべるのにう。「XよりY」にいかえられる。(433)

### 【にくらべると】

⇾【にくらべて】

### 【にくわえ】

Nにくわえ  
①しいにくわえ、にわれて、がした。  
②たちはのにくわえ、けにはレポートをけられていた。  
「…にくわえて」のきことばのい。⇾【にくわえて】  
(433)

### 【にくわえて】

Nにくわえて  
①しいにくわえて、もひどくなってきた。  
②たちはのにくわえてレポートをさなければならなかった。  
③ふたりは、のにえて、もにみ、せでのをっている。  
④そのは、のにえてなのにされて、しいがいている。  
あることがらがそれだけでわらず、さらにのものごとがけわるというをす。ややきことば。(434)

### 【にこしたことはない】

Nであるにこしたことはない　  
Na（である）にこしたことはない　  
A－いにこしたことはない　  
V－るにこしたことはない  
①はじょうぶにこしたことはない。  
②はあるにこしたことはない。  
③そうじのことをえないかぎり、はいにこしたことはない。  
④なにごともにやるにこしたことはないといつもにっているが、きのうからちてをった。  
「…のほうがいい」というをす。にとえられていることについてうがい。(434)

### 【にこたえ】にえ

Nにこたえ  
①そのはのにこたえ、きなをちった。  
②のにえ、よりがなをするだ。  
「…にこたえて」のきことばのい。⇾【にこたえて】  
(434)

### 【にこたえて】にえて

Nにこたえて  
①そのはのにこたえてみごとにした。  
②ののにえまして、もをすることにしました。  
③くのののごにおえして、この、よりいやすいをいたしました。  
④からのにえて、はチームをすることにした。  
⑤くのファンのにえるなプレーをなしとげた。  
「」や「」などのにいて、それがかなうようにじて、というをす。またをするは、⑤のように「NにこたえるN」となる。ややきことば。(434)

### 【にさいし】にし

Nにさいし  
V－るにさいし  
①のにし、ながわれた。  
②にしがわれたとのがある。  
「…にさいして」のきことばのい。  
⇾【にさいして】  
(435)

### 【にさいして】にして

Nにさいして  
V－るにさいして  
①おれにしてごをしげます。  
②のにして、はをってきた。  
③こののなアジアをするにして、ののアーティストのとをられたことにはきながある。  
④のであったをするにして、はおいのをめうをめてすべきである。  
⑤のにしてののはやはりであろう。  
あるのに、というをす。をするときは⑤のように「N／V－るにさいしてのN」となる。きことば。(435)

### 【にさきだち】にち

Nにさきだち　  
V－るにさきだち  
①にさきだち、なチェックをった。  
②にちにりをささげた。  
「さきだって」のきことばのい。⇾【にさきだって】  
(435)

### 【にさきだって】にだって

Nにさきだって　  
V－るにさきだって  
①にさきだって、をする。  
②にだって、レベルのがまった。  
③をするにだって、ののにをげたいといます。  
④をめるにだって、おいのをにしないというのがのにできたようだ。  
「かをめるに」という。そのにしておくべきことがらをするということをべるにいられる。をするは「NにさきだつN」となるが、「V－るにさきだつN」のはない。  
につがまった。  
がするにつがまった。  
(435)

### 【にしたがい】にい

Nにしたがい  
V－るにしたがい  
①のにいすること。  
②するにいががる。  
「にしたがって」のきことばでのい。  
⇾【にしたがって】  
(436)

### 【にしたがって】

1　Nにしたがって  
①のにしたがってしてさい。  
②しきたりにってをとりった。  
③のにってをいた。  
④にってんでさい。  
、、などをすをけて、それにらわずにうなりになって、りにして、というをす。  
2　V－るにしたがって  
①するにしたがってががる。  
②むにしたがってはしくなる。  
③このはをねるにってしいつやがでてる。  
「そのやがむのにともなって」というをす。ろには「ががる」「しくなる」など、にべたやのにともなってがじることがらがく。(436)

### 【にしたって】

「にしろ」「にしても」のしことばでのい。  
1　Nにしたって  
①にしたってのしがあってっていることではない。  
②にしたって、ごろはのいをじているはずだ。  
③にしたってあんなににやるはなかったんだ。  
④むところにしたって、すのにはだ。  
⑤のひとつにしたってあのではになっているはずだ。  
やものごとをすにいて、「そのようなやものやことのも」というをす。いろいろあるのつをとしてげて、それについてべるのにう。にもじなことがいえるということがみとしてじられる。  
2　V－るにしたって  
①にをえるにしたって、もうしいにはをけるべきだ。  
②をやすにしたって、がわらなければむこともできない。  
③をとるにしたって、などとてもだ。  
「そのようでも」というをす。「そこにべられたことがらについてはめるが」というみがあり、ろにはそのようなにされるのとはうことがらがつづく。  
3　＋にしたって  
①どちらにしたっててるみはほとんどない。  
②なにをやるにしたってがかかる。  
③だれにしたってこんなにはかかわりあいたくない。  
④なんにしたってこののをするにはがかかる。  
「いずれ」「どちら」「なに」「だれ」などのをって、「どんなでも」や「だれのでも」などのをす。②のようにをむがいられることもある。「…にしても」のくだけたしことばでのい。(436)

### 【にしたら】

Nにしたら  
①せっかくのしをってしまったのだから、にしたら、のがみにじられたとじていることだろう。  
②はのためをってしくしつけようとしたのでしょうが、にしたらがわれているといこんでしまったのです。  
③のをめるにはななのだが、にしたらきわまりないだとうにちがいない。  
④にしたらのつもりだったのですが、いがきつかったのかはすっかりってしまいました。  
をすをけて、「そののにてば」というをす。のにたってそののえなどをするというをすのにいる。しのについていることはできない。  
にしたらたいへんしくいます。  
としてはたいへんしくいます。  
(437)

### 【にして】

1　Nにして＜＞  
①このにしてめてのなんたるかがかった。  
②40にしてようやくにまれた（＝がまれた）。  
③をにしたにしてめてできることである。  
「そこにって」の。あるにしてめてかがこったことをすのにいられる。「Nにしてようやく」「Nにしてめて」のようにいられることがい。  
2　Nにして＜並立＞  
①にしてのなんであるかをらない。  
②はにしてなでもある。  
「Nでありなおかつ」の。①のように「Nでありながら」とにろにけるものと、②のようにににべるものがある。きことばにいる。  
3　…にして  
①いにしてにいたらずにすんだ。  
②にして、いにかかってしまった。  
③そのでにしてをった。  
④まれながらにしてのいだった。  
⑤そのは、たちまちにしてにまれてんでいった。  
のやにいて、ことがらのをべるのにいる。①や②のようににくことがらがなことであるかどうかといったしのをべるヒ、③～⑤のようにことがらのありやこりをべるがある。(438)

### 【にしてからが】

Nにしてからが  
①リーダーにしてからがやるがないのだから、ほかのたちがやるはずがない。  
②にしてからがをしていないのだから、ヒラのによくわからないのもはない。  
③にしてからが、のをかってくれようともしない。  
はもっともそれからいはずのをして、「それでさえそうなのだから、ましてほかのものはうまでもない」というちをすのにいる。マイナスがい。「からして」ともう。(438)

### 【にしては】

N／Na／V　にしては  
①にしてはむずかしいをよくっている。  
②このアパートはにしてはがい。  
③にしてはずいぶんなところにんでいる。  
④めたばかりにしてはずいぶんしたものだ。  
⑤するにしてはあまりしそうなではない。  
⑥べをしたにしてはなであった。  
「そのに」というをす。には、そこからされることということがらがく。「X（な）のに」にいかえられるがいが、「のに」にはXがすでにしたであるというみがあるのにして、「Xにしては」にはそのようなみはない。(439)

### 【にしてみたら】

⇾【にしてみれば】

### 【にしてみれば】

Nにしてみれば  
①のがはやっているかなんて、にしてみればどうでもいいことだ。それよりもっとなことがほどある。  
②いっていなかったいコンピュータをあげたのだが、にしてみればとてもありがたかったらしく、ももおをわれた。  
③はいちでしていたのだが、あのにしてみればきなだったのだろう。はちんでともをきかなくなってしまった。  
④にしてみれば、にててきたがをていったのだから、たいそうショックだろうが、はれしようとしているにをりたいちだった。  
をすにいて、「そのにとっては」というをす。そのがのとべてうをっているということをいたいときにう。「…にしてみたら」とうこともある。(439)

### 【にしても】

くだけたしことばでは「…にしたって」、まったしことばでは「…にせよ」「…にしろ」がいられる。  
1　Nにしても  
①にしても、こんなぎになるとはってもいなかったでしょう。  
②にしてもめからしていたわけではありません。  
③かなりハードなだし、にしてもしていいというわけでもない。  
④きひとつにしてもきちんとにっている。  
⑤につけているものひとつにしてもちのよさがじられた。  
やものをすにいて、それのにものことがいえるというみをもたせながら、そのやものについてべるのにいられる。いろいろあるのつをりあげてべ、のものはそうだというみをするときは、④⑤のように「…ひとつにしても」となる。  
2　…にしても　  
N（である）にしても　  
A／V　にしても  
①のいたずらにしてもってませられるではない。  
②たとえであるにしてもにをきけるがある。  
③しいにしてもぐらいはれられただろうに。  
④をっているにしても、こんなちはあんまりだ。  
⑤いくらしいにしてもからしはけたくない。  
「…でべられているようなであることをかりにめたでも」というをす。ろには、そこからされることとはいうことがらがべられる。⑤のように「いくら」「どんなに」などのとにいられることもい。  
3　…にしても…にしても　  
NにしてもNにしても　  
VにしてもVにしても  
①にしてもにしても、このにいているとはいえない。  
②にしてもにしてもこのマンションではペットをってはいけないことになっている。  
③にしてもにしても、のにしたことはいにがあった。  
④くにしてもかないにしても、だけはしておきなさい。  
⑤つにしてもけるにしても、といたい。  
⑥ったにしてもけたにしても、よくったとほめてやりたい。  
じジャンルのつのもの、あるいはするふたつのものごとをりあげて、「そのどちらのでも」というをす。  
4　＋にしても  
①いずれにしてもはにちされることになった。  
②だれにしてもそんなことはやりたくない。  
③なんにしてもにちいてもらいます。  
④だれがやったにしても、でをとらなければならない。  
⑤をするにしても、よくえてからしなさい。  
「いずれ」「だれ」「なに」などのをって、「どんなでも」や「だれのでも」などのをす。④⑤のようにをむがいられることもある。  
5　それにしても⇾【それにしても】  
(439)

### 【にしろ】

①がわいろをけったかどうかになっているが、かりにのはなかったにしろ、なんらかのをもらったことはいない。  
②にしろにしろ、のちをしようとするものはいなかった。  
③どちらのをするにしろ、メンバーにはなをするがある。  
「…にしても」のまったきことばのい。「…にせよ」ともう。⇾【にしても】  
(441)

### 【にすぎない】

⇾【すぎない】

### 【にする】

⇾【する】

### 【にせよ】

①のはにあるにせよ、のきもされるだろう。  
②るにせよないにせよ、ぐらいはしてほしい。  
③いずれにせよもうをしなければならない。  
「…にしても」のまったきことばのい。「…にしろ」ともう。⇾【にしても】  
(441)

### 【にそういない】

N／V　にそういない  
①はあのにない。  
②は3にをたままってこない。きっとなにかにきまれたにない。  
③これをったら、はきっとのごとくりすにない。  
「いなくそうである」「きっと…だろう」といったしのいをす。きことばにいる。「…にちがいない」にいかえられる。(441)

### 【にそくして】

Nにそくして  
①にそくしてをまじえないでについてしてください。  
②にそくしていうと、ぼくのにとっていときののはとてもきい。  
③ゼロにつきましてはそれぞれのでがなるといますから、にしていたします。  
④このはなではなく、にそくしてしなけれはならない。  
⑤にしてうと、のはとしてりうべきのものだ。  
、、などをすにいて、「それにそって」、「それにって」あるいは「それをとして」というをす。①～③のように、などのにくときは「して」とき、④⑤のようにやなどのにくときは「して」とく。(442)

### 【にそった】

⇾【にそって】

### 【にそって】

Nにそって  
①このにってずっとくと、にきいがえてきます。  
②にって、がいていた。  
③このにってえてあるは、でもよくつ。  
④いてあるにってやってください。  
⑤マニュアルにったのきしからないのでは、いざというときる。  
⑥はにってにっていった。  
やなどくくものや、やマニュアルなどのれをすものをすにいて、「それがいていくとおりに／そのふちにずっと／それにしたがって」などのをす。この、は「う」をいる。また、⑥のように、やものにれずにきうというをすこともあるが、こののは「う」をいる。をするときは⑤のように「NにそったN」となる。(442)

### 【にたいして】

1　…にたいして　  
Nにたいして　  
Naなのにたいして　  
A－いのにたいして　  
Vのにたいして  
①のにしてはにをえてきた。  
②のにしてもえてくれなかった。  
③はにしてはにしてくれる。  
④にしてのりべがわれているところです。  
⑤がをってしたのにして、はきくをってえてくれた。  
「そのものごとにけて／じて」などのをし、ろにはそれにけられたやなど、なんらかのきかけをすがく。をするときは「…にたいしてのN」「…にたいするN」となる。  
2　N＋＋にたいして  
①1にして40のがえられる。  
②20にしてがされている。  
③3にして1のでをぜます。  
④1にして20のスペースがされている。  
でされたをとして、「そのにじて」のをす。「…について」「…につき」にいかえられる。  
3　…のにたいして  
①がをしているのにして、はをしている。  
②ががいのにして、のはクラスでい。  
なふたつのことがらをべてすのにいる。(442)

### 【にたいする】

1　NにたいするN  
①のにするえはなかなかられない。  
②にするのははかりれない。  
③にするをむきしにしてくってかかった。  
④にするがい。  
「それにけての」「それにしての」というをし、にくをする。「そのにしての」のように、「NにたいしてのN」というがいられることもある。  
2　N＋＋にたいするN  
①1にするのは40である。  
②1にするは20というになる。  
でされたをとして、「そのにじて」のをし、それにくをするのにいられる。(443)

### 【にたえない】

1　V－るにたえない  
①いがからまでりでいをしているはるにたえない。  
②ごろのはがく、むにたえない。  
③のあと、はパニックとなった。がにをおそい、するにたえないがりげられた。  
あまりにひどいで、たりいたりするのがつらいというをす。「る」「む」「する」など、ごくられたしかわない。  
2　Nにたえない  
①このようなおをいただき、のにたえません。  
②くなってボランティアをじていとこのようなすばらしいいがあろうとはえてもみないことであった。にたえない。  
「」「」などのられたにいて、そのをするのにいる。かたいとしてうのが。  
(443)

### 【にたえる】

1　Nにたえる  
①このはきびしいのさにたえて、になるとしいをかせます。  
②にえられなくなって、はのをりた。  
けないでするというをす。のはをす「たえられない」をうことがい。  
2　…にたえる　  
Nにたえる　  
V－るにたえる  
①アマチュアのではあるがにたえるがんでいる。  
②きびしいのにたえるりをしたい。  
③むにえるがけるようになるまでにはのがる。  
「」「」「む」「る」などのられたやにいて、そうするだけのながあるというをす。のは「たえない」をうのがで、「たえられない」はわない。⇾【にたえない】  
(444)

### 【にたりない】

V－るにたりない  
①とるにりない（＝つまらない）ことをそんなににするな。  
②あんなものはれるにりない。  
③はするにりないだ。  
「それほどのものではない」「そうするだけのがない」というをす。(444)

### 【にたる】

V－るにたるN  
①のはにり、するにたるはいなくなってしまった。  
②でたちがするにたるにえるかどうかがだ。  
③のうちにるにるなどそうあるものではない。  
④ではそれぞれなことをいうばかりで、をけるにるはなかった。  
⑤すべてがったようななでは、するにるニュースなどなにもなかった。  
「する」「する」などのられたにいて、「そうするちがじゅうぶんにある」「そうするにふさわしい」というをす。かたいきことば。(444)

### 【にちがいない】

⇾【ちがいない】

### 【について】

1　Nについて  
①のについてべている。  
②そのについてはにはできない。  
③はについてもろうとしない。  
④のについてする。  
⑤についてのをけた。  
⑥についてのをった。  
⑦ことのについてのができなくなっている。  
「それにして」というをす。をするときは⑤～⑦のように「NについてのN」というになる。にうときは「つきまして」となる。  
そのにつきましてはでおさしあげます。  
2　N＋＋について  
①1について5のをちょうだいします。  
②1について3つまでのをちむことができます。  
③5について1しかりてられなかった。  
をけてそのをとし、「そのにじて」のをす。「…にたいして」。(445)

### 【につき】

1　Nにつき＜して＞  
①のにつきがわれた。  
②のにつきのからしいがびせられた。  
「Nについて」のあらたまったい。⇾【について】1  
　  
2　Nにつき＜＞  
①につきしばらくおみさせていただきます。  
②はにつきをとりやめさせていただきます。  
をけて「そので」のをす。まったなどにいられる。  
3　N＋＋につき  
①200につき、5のがついた。  
②テニスコートのは1につきちょうだいします。  
③は11につき2かかる。  
「N＋＋について」のあらたまったい。⇾【について】2  
(445)

### 【につけ】

1　Nにつけ  
①につけがだ。  
②はかにつけのことをのかたきにする。  
③さんごにはかにつけにしていただいています。  
にしたで、「につけ」「かにつけ」ので、それぞれ「どんなでも」「かのきっかけがあるたびに」というをす。  
2　V－るにつけ  
①のをるにつけ、そののことがいされる。  
②そのことをえるにつけのにさいなまれる。  
③そのをくにつけ、しかったあののことがいされる。  
にしたで、「る」「う」「える」などのにき、「かをたりったりするたびにそれにして」というをす。ろには「い」「」など、やにするがく。  
3　…につけ…につけ　  
AにつけAにつけ　  
VにつけVにつけ  
①いいにつけいにつけ、あののをぐしかない。  
②しがまとまるにつけ、まとまらないにつけ、のをってくれたにはおをしなければなりません。  
にしたで、つのなをすをべて、「それらのどちらのでも」というをす。(446)

### 【につれて】

Nにつれて　  
V－るにつれて  
①のにつれて、になかったしいがまれてた。  
②がたつにつれて、しみはらいできた。  
③がくなるにつれて、のがえてた。  
④がむにつれて、もしてきてぎとなった。  
⑤するにつれて、はになってきた。  
あるのとともに、ほかのもするという、おおまかなをす。きことばのは「…につれ」ともう。(446)

### 【にて】

Nにて  
①にてをいます。  
②では、これにてします。  
③はにていたします。  
のをしたり、「これにて」「にて」などのにいられる。まったなどのきことばにいる。「で」にいかえられる。(447)

### 【にとって】

Nにとって  
①にとってこんなはでもないことです。  
②にとってはインフレはなである。  
③なるがのにとってきなとなった。  
④のにとっては、のましがなによりもりいものだった。  
くはやをすをけて、「そのからみれば」というをす。まれに③のようにものごとをすをけて「そのからえると」のをすこともある。ろには・をすや「むずかしい」「りい」「だ」など、をすがく。「」「」「する」などのにかかわるはいることができない。  
そのはにとってです。  
はそのにです。  
(447)

### 【にどと…ない】と…ない

にどとV－ない  
①こんなろしいいはとしたくない。  
②じいはとさないようにしましょう。  
③こんなチャンスはとれないだろう。  
④あんなサービスのいレストランにはときたくない。  
⑤、れたら、あのにはもうとえないかもしれない。  
「に…ない」「してりさない」とくちすのにいる。  
(447)

### 【にとどまらず】

Nにとどまらず  
①そのはにとどまらずにもがっていった。  
②ばつはそのだけにとどまらず、その3もいた。  
③によるは、やいにとどまらず、にまでがった。  
やなどをすをけて、「そのにはまらず」「それだけでなく」というをす。(448)

### 【にともない】

Nにともない　  
Vのにともない  
①にともない、のもになりつつある。  
②のにともない、もにしている。  
③のきにいまして、このたびしくをするはこびとなりました。  
「にともなって」のさらにかたいい。⇾【にともなって】  
(448)

### 【にともなって】

Nにともなって　  
Vのにともなって  
①のにともなってもがりしくなってきた。  
②がえるのにともなって、のもしてきた。  
③のにって、のはからニューヨークヘとることになった。  
「にともなって」のとにをすをいて、でべるとしてにべるがこるというをす。あまりなことがらでなく、のきいをべるのにう。きことばでフォーマルな。(448)

### 【になく】

Nになく  
①のはいつになくかだった。  
②になく、のはしいがい。  
③はがうまいとわれて、にもなくをらめていた。  
にしたで、「いつもとはって」というをす。「…にもなく」ともう。(448)

### 【になると】

⇾【なる】9

### 【ににあわず】

Nににあわず  
①いつものさんにわずがなかった。  
②はきなにわずのさいところがある。  
「そのものがつとはしないで」というをす。  
(448)

### 【には】

1　Nには  
　の「に」がついたをりてるために「は」がつけえられたもの。  
a　Nには＜・・・なと＞  
①にはがきます。  
②10にはってくるといます。  
③このにはがつもあります。  
④にはりませんでした。  
⑤さんにはきのういました。  
⑥みなさんにはしありませんが、のまりはになりました。  
の「に」がいていろいろなをすをりてて、としてしたり、のものとのをしたりする「は」のがけえられたもの。「は」のをえるがいときは「に」だけでいられる。  
b　Nには＜の＞  
①このセーターはにはきすぎる。  
②このはむずかしすぎてにはかりません。  
③このはのないにはでしょう。  
をすをけて「そのにとっては」というをす。「きい」「むずかしい」「できる」「できない」などのがにしてされるのかをす。「のものはともかくとして」というなみがじる。「に」だけでいられることはなく、「…には」のとなるのが。  
c　Nには＜の＞  
①にはおわりなくおごしのこととじます。  
②にはおわりなくおごしのこととおびしげます。  
のをすをけて、そのにをすためにいる。まったなどでしかいない。さらにまったとしては「…におかれましては」がある。  
2　V－るには  
①そこにくにはしいをえなければならない。  
②そのにるにはをとるがあります。  
③をするにはきがだ。  
「そうするためには」「そうしたいとうのなら」というをす。  
3　V－るにはVが  
①くにはくが、にえるかどうかはからない。  
②A：あしたまでにさせるとしたんですって？  
B：うん。するにはしたけれど、できるかどうかがないんだ。  
③いちおうするにはしたのですが、まだみんな、にできていないようでした。  
じをりしいて、「いちおうはそうする（そうした）けれども、のいくになるかどうかわからない」というをす。(449)

### 【にはあたらない】

V－るにはあたらない  
①でをしているのによると、でのいじめがだという。しかしくにはあたらない。のもじなのだから。  
②ひとりだけをいてしたからといって、するにはたらない。あのようなのもとではそれのはなかっただろう。  
③どもがちっとものいうことをきかないからといって、くにはたらない。きっといつかのがわかるがくる。  
④がでひとこともしなかったからといってめるにはたらない。あのワンマンのではだれでもそうなのだ。  
「く」「する」などのにいて、そうすることはではない、をていないというをす。「…からといって」などのをすとにうことがく、「こういうでいたりしたりするのははずれだ」のとなる。(450)

### 【にはおよばない】

1　…にはおよばない　  
Nにはおよばない　  
V－るにはおよばない  
①ではもはつかりませんでした。すっかりになりましたから、ごにはびません。  
②かりきったことだから、わざわざするにはばない。  
③こんなくまで、はるばるおしいただくにはびません。  
「そうするほどのことはない」「そのはない」というをす。「…にはあたらない」ともう。  
2　それにはおよばない  
①A：でまでおりしましょう。  
B：いいえ、それにはびません。いても5ほどのですから、どうぞごなく。  
②A：までおえにあがりますよ。  
B：です。よくっているですから、それにはびませんよ。  
のしにして「そこまでしてくれなくても」とわるにいる。のりをめるみがあり、「そのはありません」よりもない。(450)

### 【にはんし】

Nにはんし  
①のにして、らのチームがした。  
②のにし、はをけている。  
「…にはんして」のきことばのい。⇾【にはんして】  
(451)

### 【にはんして】

Nにはんして  
①にはんして、のはそれほどしくはなかったそうだ。  
②のにして、らはしなかった。  
③のにして、はのとなった。  
④のでは、のにして、がかなりいったをしただ。  
「」「」などをするをすにいて、がそれとはなるものであることをす。「…とはって」「…とはに」にいかえられる。きことば。またをするは「Nにはんする／にはんしたN」となる。  
のは、のにするとなった。  
(450)

### 【にひきかえ】にきかえ

Nにひきかえ  
①にひきかえはだれにでもかれるだ。  
②のにきかえ、はけだ。  
③このごろはっぽいにひきかえのほうががあってしっかりしているようだ。  
④のなにひきかえ、のなはのをいている。  
なつのものをべ、「とはには」というをす。しことばでは「Nにくらべて」をう。  
(451)

### 【にほかならない】にならない

1　Nにほかならない  
①このをのうちにわらせることがましたのは、がたのごのたまものになりません。  
②をるというのは、すなわちをむということにならない。  
「それにない」「まさにそのものである」とにべるにいる。  
2　…にほかならない　…から／…ため　にほかならない  
①がガンになったのは、あのでいたためにならない。  
②がをむのは、のをねたんでいるからにならない。  
③このにこんなにもちむことができたのは、がえていてくれたからにならない。  
あることがらがこったやがそのことにない、まさにそのためであるとにべるのにいられる。(451)

### 【にむかって】にかって

1　Nにむかって＜＞  
①このはボストンにかっています。  
②はだんだんにかっています。  
③のはのにかってにんでいった。  
④にかってだんだんかくなってきた。  
⑤このトンネルはにかってりになっている。  
ものがするのをしたり、やがするのくをしたりする。①～③は、「この」「」「の」がきくをし、①②のようにのとしていることもできる。④と⑤は、にをすがき、「そこにづくにつれてかのがこる」をす。えば④は、にづくにつれて、のというがこるということをしている。  
2　Nにむかって＜＞  
①にかってをむ。  
②にかってる。  
③マリアにかってりをげる。  
④のはにかってにあります。  
ものやをすをけて、それにしてまっすぐをくをとるというをす。  
3　Nにむかって＜＞  
①にかってなをきくな。  
②にかってする。  
③にかってなをす。  
をすをけて、あるをったりあるをけたりするのをす。「…にたいして」ともえる。(452)

### 【にむけて】にけて

1　Nにむけて＜＞  
①にをけてっている。  
②はをにけてんでいた。  
③はをにけた。  
やをすをけて、もののしてくや、ののきなどをす。③のようにのとしていることもできる。  
2　Nにむけて＜＞  
①はヨーロッパにけてびった。  
②らはにけてした。  
をすをけてのとするをす。ろにはをすがく。  
3　Nにむけて＜＞  
①にけてのをえた。  
②アメリカにけて、いをりけた。  
③はのたちにけてくのをえけた。  
やをすをけて、「…にして」のをす。  
4　Nにむけて＜＞  
①スポーツにけてしいがけられた。  
②のにけてメンバーのがめられた。  
③なにけてはをしまなかった。  
できごとをすをけて、「そのできごとのをめざして」のをす。ろにはをすがく。(453)

### 【にめんした】

⇾【にめんして】

### 【にめんして】にして

1　Nにめんして＜＞  
①しいにして、バルコニーががっている。  
②このはいにしている。  
③リゾートのホテルで、にしたをした。  
ややなど、あるがりをったをすをけて、そこにして、あるがをいてしていることをす。②のように「…にめんしている」のでにいることもできる。また、をするときは、③のように「NにめんしたN」のをとる。  
2　Nにめんして＜＞  
①はにしてもなのれるいのちなのだ。  
②はにしてもにできるだ。  
やなどのしいにしてというをす。  
(453)

### 【にも】

1　Nにも  
の「に」のついたをりてるために「も」がつけえられたもの。  
a　Nにも　＜・・・なと＞  
①あそこにもがいます。  
②さんにもえてあげよう。  
③にもにもきました。  
の「に」がいていろいろなをすをりてて、「それだけでなくのものについてもじことがえる」という「も」のがけえられたもの。「も」のをえるがいときは「に」だけでいられる。  
b　Nにも＜の＞  
①ごのみなさまがたにもおすこやかにおごしのこととしげます。  
②にもごにおごしの、おびしげます。  
のをすをけて、そのにをすためにいる。にめられたでしかいられず、にまったのとしてわれる。さらにまったとしては「…におかれましては」がある。  
2　V－ようにも　  
a　V－ようにも…ない  
①けをぼうにもがない。  
②をめようにも、がからなかったのです。  
③にもうにもがれてごもみせなかった。  
④をしたときはすでにれで、けようにもけようがなかったのです。  
「ぼう」「めよう」など、のをけて、ろにはののがき、「そうしようとってもできない」というをす。  
b　V－ようにもV－れない  
①しみたいけれど、しくてもうにもめない。  
②こんなにくまでてしまっては、ろうにもれない。  
③こんなろしいは、れようにもれられない。  
④れでがふさがれており、それもうにもめないだった。  
「ろう」「れよう」など、のをけて、ろにもじののをりし、「そうしようとってもできない」「どうしても…することができない」というをす。(454)

### 【にもかかわらず】

N／A／V　にもかかわらず　  
Naであるにもかかわらず  
①にもかかわらず、にした。  
②がめたにもかかわらず、はかけていった。  
③あれだけしたにもかかわらず、すべてにわってしまった。  
④でされているにもかかわらず、はバイクでした。  
「そのようなであるのに」というをす。ろには、そのようなならできることといったをすがく。のようにのはじめにうこともできる。  
なだとされていた。にもかかわらず、でかけてするはめになった。  
(454)

### 【にもとづいた】

⇾【にもとづいて】

### 【にもとづいて】にづいて

Nにもとづいて  
①にあったにづいてをいた。  
②にづいてする。  
③のにづいてをす。  
④このはにあったことにづいている。  
⑤のにづいただから、できる。  
「それをもとにして」「それをにして」のをす。④のようにのとしていることもできる。また、をするときは⑤のように「…にもとづいたN」のになる。「…にもとづいてのN」となることもある。(455)

### 【にもなく】

Nにもなく  
①はがらにもなくなんかをている。  
②そのをて、にもなくしてしまった。  
にされたで、「そのやそのもののいつものやとはって」というをす。(455)

### 【にもならない】

1　Nにもならない  
①あまりにばかばかしいで、にもならない。  
②こんなにいではきつけにもならない。  
「」「きつけ」など、あまりにたないものをすをけて、そのさえないというをす。  
2　V－るきにもならない  
①あまりにばかばかしくてうにもならない。  
②のえがあまりにっぽいので、をてるにもならなかった。  
「そのようなちにならない」というをす。くのはそうするちにならないほどがいというマイナスのをめていられる。(455)

### 【によったら】

⇾【によると】1b

### 【によって】

1　Nによって＜原因＞  
①のなによって、をつけてしまった。  
②によって、は3もれました。  
③ほとんどのはによってがした。  
をけて、「それがとなって」のをす。ろにはをすがく。  
2　Nによって＜受身文の動作主＞  
①このはなによってされた。  
②そのののくはによってしされた。  
③のによってしめられた。  
④これらのはヨーロッパからのたちによってもたらされた。  
⑤3のたちによってにながかれた。  
⑥このなファッションはしいものをむたちによってただちにけれられた。  
のをす。「XにYされる」の「Xに」とじだが、「Y」のが「する」「る」「く」のようにかをみすことをすものであるときは「に」はえず「によって」をいる。また、②③の「」「の」のようにとされるもののときは、「で」でいかえることができる。  
でしされた。  
3　Nによって＜手段＞  
①このによってくのがらかになった。  
②をカットすることによって、をりろうとしている。  
③のによって、がになった。  
④コンピュータによってのがになった。  
⑤インターネットによってのがいともににるようになった。  
「それをとして」「そのをいて」のをす。  
4　Nによって＜よりところ＞  
①このによっていままでだったくのがらかになった。  
②くかかないかは、あしたのによってめよう。  
③のによってこのをさせることができました。  
④のよりものでどれだけしたかによってをつけようとう。  
⑤によってのにをけることにした。  
⑥によってらはくまでをけた。  
や「…か」のにいて、「それをよりどころとして」「それをとして」というをす。⑤⑥はとしてされたで「いつものように」という。  
5　Nによって＜場合＞  
①によってえがう。  
②はによってがるそうだ。  
③とによって、えをえなければならないこともある。  
④によってはこのをしなければならないかもしれない。  
⑤とによっては、にえなければならない。  
「そのうちのいろいろなにじて」というをす。⑤はで「によって」とじ。  
(456)

### 【によらず】

Nによらず  
①このでは、やによらず、のあるなしによってされる。  
②いしきたりによらず、しいなやりかたでをいたい。  
③はかけによらずなだ。  
④によらず、をらないことがだ。  
「それとはなく」「それとはしないで」というをす。③と④はで、それぞれ「とはって」「どんなでも」という。(457)

### 【により】

①がかなりがっていることが、のによりらかになった。  
②はところにより。  
「によって」のきことばない。⇾【によって】  
(457)

### 【による】

Nによる  
①によるにきいて、によるスピーチがわれた。  
②のなは、のいによるものである。  
③によるのはないということである。  
④をべてるかどうかは、のわるによる。  
⑤でくかどうかはによる。れていたらのがちがいいが、もしがったらでくしかない。  
「」「」「」などをすのにいる。①～③のようにNがやをすと、④⑤のようにNがなにかをめるためのをすがある。やをすは、きことばなかたいでわれるが、のはふつうのしことばでもわれる。(457)

### 【によると】

1　Nによると　  
a　Nによると  
①によると、はれるそうです。  
②のによると、このはをするためのものだということです。  
③あののによると、はれるだろう。  
ほかからいたことのどころやのよりどころをす。ろには「…そうだ」「…ということだ」などのをすや「…だろう」「…らしい」などのをすがく。①②は「…によれば」をいることもできる。  
b　ことによると／ばあいによると  
①ことによるとのはキャンセルしなければならないかもしれない。  
②によるとらもにてくれるかもしれない。  
にしたで「もしかしたら」「あるのもとでは」というをす。ろにはをすがく。「ことによったら」「によったら」のもいられる。  
2　Vところによると  
①いたところによると、はでいくがよりいもあるそうですね。  
②のするところによると、はとはないということだ。  
③のったところによると、このあたりにはいがあったということだ。  
はかからいたことのどころやのよりどころをす。ろには「…そうだ」「－ということだ」などのをすや・などのをすがく。「…ところによれば」のもいられる。(458)

### 【によれば】

①このによれば、そのがしたのは11のことだ。  
②のによれば、このはとしてのいものだそうだ。  
「…によると」とじ。⇾【によると】1a、2  
(458)

### 【にわたって】

Nにわたって  
①このグループはのを10にわたってけてきた。  
②はこのをにわたってれ、ダムについてのとのしいをおこなっている。  
③はヨーロッパからまで8にわたってし、についてのをめた。  
④にするのはにっており、とてもですることはできない。  
・・のなどをすにいて、そのがきいをす。に「う／ける／れる」などのをうことがい。きことばなかたいでわれる。(459)

### 【にわたり】

Nにわたり  
①しいはにわたり、にはした。  
②のはにわたり、そのはのにいをえた。  
③がれたはに23にり、そのをしたはののをききとしっていることでになっている。  
「にわたって」とじ。「にわたって」はのをすることがいが、「にわたり」はのわりにわれることがい。きことばなかたいでわれる。(459)

### 【ぬ】

のをすで、では「…ません」や「らん」「かん」などの「ん」にそのがっているほかは、としてされたいにいられる。  
1　V－ぬ  
①らぬぜぬで（＝らないとしけて）しす。  
②らぬが（＝がらないうちにかにとってのいことをするにいる）。  
③せぬ（＝しない）がこった。  
④いでをえなければならぬ。  
としてされたで、「…ない」のをす。④は「…なければならない」のない。  
2　V－ぬうちに  
①にもかれぬうちにここをけそう。  
②くならぬうちににたどりけるといいのだが。  
「…ないうちに」のない。⇾【うち】2c  
3　V－ぬばかり  
①おまえはだとわぬばかりのをした。  
②かぬばかりにした。  
にしたで、「いまにもそうしそうなで」というをす。「V－んばかり」の。⇾【ばかり】6  
4　V－ぬまでも  
①このからちたら、にらぬまでもはまぬがれないだろう。  
②はけぬまでもはわせられるだろう。  
「…ないまでも」のない。⇾【ないまでも】  
5　V－ぬまに  
①のいぬに（＝になるがいないにしたいことをする）。  
②らぬにこんなにくまでてしまった。  
にしたで、「…ないあいだに」というをす。(459)

### 【ぬき】き

1　Nぬきで  
①このまりでは、ったこときでにやりましょう。  
②このはいきで、だけでみにきましょう。  
③きはきで、さっそくにりましょう。  
「…はいて」という。③のように「Nはぬきで」となることもある。  
2　Nぬきに…V－れない  
①このは、のきにはえられない。  
②きにをけることはだ。  
③ののはのきにれない。  
をけ、さらに「…できない」「V－れない」「だ」などをにいて、「それなしでは…することができない」というをす。  
3　Nはぬきにして  
①この、のはきにして、いにしみましょう。  
②はきにして、のにりましょう。  
「…はいて」「…はめて」という。(460)

### 【ぬく】く

R－ぬく  
①しかったがまでりぬいた。  
②めたからには、あきらめずにまでやりぬこう。  
③えいたのだからもうわることはない。  
④このいをえくことができたのは、「ここでにたくない」といういちがあったからだといます。  
な・をてまでやりえるという。しさにえてやりげるといういがい。(460)

### 【ぬまでも】

V－ぬまでも  
①とはわぬまでも、せめてさなぐらいはてたいものだ。  
②このからちたら、にらぬまでも、はまぬがれないだろう。  
「…ないまでも」のない。⇾【ないまでも】  
(461)

### 【ねばならない】

V－ねばならない  
①ののためにせねばならない。  
②してにたらねばならない。  
「…なければならない」のきことばない。⇾【なければ】2  
(461)

### 【ねばならぬ】

V－ねばならぬ  
①にはをわせてちかわねばならぬ。  
②はがねばならぬ。  
「…ねばならない」よりさらにない。⇾【なければ】2  
(461)

### 【の1】

1　NのN　  
a　NのN　＜＞  
①これはあなたのじゃないですか。  
②こちらはのさんです。  
③のアパートはとてもい。  
をし、そのがすもののややなどをす。  
b　NのN　＜＞  
①のをう。  
②バラのをる。  
③3のにる。  
④カップ1のをえる。  
をし、そのの・・・など、さまざまなをす。  
c　NのN　＜＞  
①のにした。  
②のさんをごしましょう。  
③これはのでございます。  
のNとろのNがじものであることをす。ろのNにはやもののといったがいられることがい。  
d　N（＋）のN  
①のはい。  
②のをんだ。  
③アメリカからのをする。  
④までのバスにった。  
⑤さんとのはしかった。  
⑥でのはホテルよりのほうがいい。  
「がする」「をする」「アメリカからがる」の「」と「」、「」と「」、「アメリカ」と「」のを、のがろのをすることによってす。「がする」「をする」のように「が」と「を」がいられているは「の」「の」となり、「が」や「を」はれない。それののは「アメリカからの」「さんとの」のようにもさなければならない。また、の「に」にはこのがなく、わりに「へ」がいられる。  
にの  
への  
e　Nの…N  
①のいたはすばらしい。  
②たちのうがこえる。  
③タイプのなをしている。  
④のくにまたてください。  
「がいた」「タイプがな」のように、（このは「」「」）をするのに「が」がいられている、この「が」のわりに「の」をいたもの。  
2　…の  
a　Nの  
①これはのです。  
②はこののがいやすい。  
③このはれてますので、ののをおいさい。  
④ラーメンなら、のそばのがくておいしいよ。  
⑤のハンカチしかいてないけど、のはありませんか。  
「Nのもの」というをす。  
b　…の　  
Naなの　  
A／V　の  
①これはちょっとさすぎます。もうしきいのはないですか。  
②みんなでをちよってパーティーをしたんだけど、がったのがよかったんだ。  
③これはきすぎていにくい。もっとさくてなのをさなくてはならない。  
④そのはいから、さっきってきたのをってさい。  
やにいて、「きいもの」「がったもの」などのをす。  
c　Nの…の　  
NのNaなの　  
Nの　A／V　の  
①のなるべくなのをしてきてほしい。  
②ビールのえたのはないですか。  
③のにリンゴのったのがっていた。  
「Nの＋の」というで、Nのすものにして、のすようなにあるものをにしてしすにいる。えば②は、「ビールにして、そののえたど－ル」という。  
(461)

### 【の2】

1　…の＜＞  
N／Na　なの  
A／V　の  
①A：んでばかりいて。、になの？  
B：するなよ。だってば。  
②A：ちゃんは、なにをしてびたいの？  
B：バトミントン。  
③A：スポーツはがなの？  
B：テニスです。  
④ないね。どうしたの？  
のイントネーションをってをす。やしいにするしことばにいられる。  
2　…の＜い＞　  
N／Na　なの　  
A／V　の  
①おさん、あのがいじわるするの。  
②A：あしたにきませんか。  
B：だけど、はほかにがあるの。  
③はにをてているみたいなの。  
④A：ないですね。  
B：ええ、ちょっとがいの。  
⑤A：もうしくけない？  
B：ごめんね。ちょっとがいの。  
のイントネーションをって、やがいでするのにいる。  
3　…の＜＞  
①A：やあ、さん。は。  
B：あらさん。てたの。  
②：さん、なんですって？もよ。  
：へえ、さんもなの。  
③A：のすごくおもしろかったよ。  
B：あれ、もいてくれていたの。  
、またはのイントネーションをって、にするのにいられる。  
4　…の＜い＞  
V－る／V－ない　の  
①なんだから、しくてているの。  
②そんなわがままはわないの。  
③はいんだから、はくるの。  
④のはこんなことでかないの。  
、またはのイントネーションをって、がのにしていでしたりしたりするにいる。(463)

### 【の…の】

1　…の…のと　  
NだのNだのと　  
NaだのNaだのと　  
AのAのと　  
VのVのと  
①がすぎるのなすぎるのとばかりっている。  
②がいのがまないのとっては、いをっている。  
③がにいらないのがいだのと、むずかしいことばかりっている。  
④のは、がいのづかいがいのと、うるさい。  
のものをべげて、あれやこれやとうるさくうをす。のようなもある。  
なんのか（ん）のと（＝ああだこうだと、いろいろ）ばかりっている。  
ののわずに（＝あれこれわずに）ついてこい。  
2　…の…ないの  
a　…の…ないのと  
A－いのA－くないのと  
V－るのV－ないのと  
①くのかないのといっている。  
②したいのしたくないのとわがままをう。  
③をめるのめないのとんでいた。  
④A：あの、するんですって？  
B：ううん。するのしないのとぎしたけど、はうまくおさまったみたいよ。  
なをべげて、あれやこれやとうるさくうをす。  
b　…の…ないのって　  
A－いのA－くないのって　  
V－るのV－ないのって  
①A：、かったでしょ。  
B：いのくないのって。がるんじゃないかとったよ。  
②A：あのはかったでしょうね。  
B：いのくないのって。わすでんじゃったよ。  
がにしいことをす。「ひどく…なだ」という。ろにはそのためにじたことがらがべられることがい。「…のなんのって」ともう。くだけたしことばにいる。  
3　のなんの　  
a　…のなんのと　  
A／V　のなんのと  
①すぎるのなんのと、ばかりっている。  
②やりたくないのなんのとわがままをいめた。  
③がいのなんのとをつけてはをんでいる。  
ましくないことをあれこれうるさくうをす。  
b　…のなんのって　A／V　のなんのって  
①A：にっていたんじゃない?  
B：いたのなんのって。すっかりわっちゃてるんだもの。めはうかとったよ。  
②A：あのホテルはのがうるさくありませんでしたか。  
B：いやあ、うるさいのなんのって、られなかった。  
③んだのなんのって、あんなにしそうなはたことがない。  
2bの「…の…ないのって」とじ。(464)

### 【のいたり】

⇾【いたり】

### 【のか】

N／Na　なのか　  
A／V　のか　  
1　…のか＜＞  
①なんだ、だったのか。かがいるのかとった。  
②はっているとっていたのに。らなかったのか。  
③なんだ、まだだれもていないのか。ぼくがいとってたのに。  
のイントネーションをっていられる。っていたこととうがしたことをいきをめてべるのにいる。  
2　…のか＜＞  
①の5？そんなにくきるのか？  
②はにがいたこともらなかったのか？  
③A：もうるのか？  
B：うん。はれたから。  
のイントネーションをって、にするやをす。  
3　…のか＜＞  
①までにけばいいのかいてみよう。  
②はいつもで、をえているのかさっぱりからない。  
③この、どこにったらいいのかえてさい。  
④くのかかないのかはっきりしてさい。  
⑤あのはやるがあるのかないのか、さっぱりからない。  
「までにけばいいのですか」「くのですか、かないのですか」などのを、としてのにみんだもの。(465)

### 【のきわみ】

⇾【きわみ】

### 【のだ】

N／Na　なのだ　  
A／V　のだ  
きことばで、しことばでは「んだ」となることがい。ないは「のです」で、これはしことばにもいられる。くだけたしことばでは「どうしたの？」のように「の」だけでわることもある。また、かたいきことばでは「のである」がいられることもある。  
1　…のだ＜＞  
①がしている。きっとこのでをしているのだ。  
②をすっかりらせてしまった。よほどのったことがにさわったのだろう。  
③はのことがいなのだ。――だって、このところをけようとしているもの。  
のでべたことや、そののなどについて、そのやなどをするのにいる。  
2　…のだ＜＞  
①やっぱりこれでよかったのだ。  
②がなんとおうとのはっていないのだ。  
③がしてもはやるのだ。  
しがをさせようといをったり、のをしたりするにいる。  
3　…のだ  
①はをけようとしている。いったいのがにらないのだ。  
②こんなげたことをいしたのはだれなのだ。  
をむをけて、やきにしてらかのをめるのにう。  
4　つまり…のだ  
①さえしていればこのようなことにならなかった。つまりこのはではなくだったのだ。  
②がいたいのは、にをたなければならないということなのだ。  
③のはのをえている。するに、はもはやけられないことなのだ。  
「つまり」「がいたいのは」「するに」などにいて、これまでにべたことをのでいかえるにいる。  
5　だから…のだ  
①コンセントがけている。だからスイッチをれてもつかなかったのだ。  
②エンジンオイルがれている。だからないがしたのだ。  
③のがをたたない。そのためにのがかされているのだ。  
「だから」「そのために」などにいて、そこでべられることがらが、のでべたことがらのとしてきされるものであるというをす。  
6　…のだから　  
N／Na　なのだから　  
A／V　のだから  
①まだなのだから、わからなくてもがないでしょう。  
②でもできたのだから、あなたにできないはずがない。  
③あしたするのだから、にをしておいたがいい。  
④のはなのだから、くれぐれもにしてくださいね。  
をけて、そこでべられていることがであるとめ、そのが・となってにべることがらがきされることをす。たとえば①はだということはめたうえで、それをに、わからなくてもがないというをきしている。それにし「まだだからからないのだろう」のは、からないのはだからだろうとのをしている。しことばでは「…んだから」となることがい。(466)

### 【のだった】

１　V－るのだった＜＞  
①あと10あればにったのに。もうしくしておくのだった。  
②こんなにつまらないなら、わるのだった。  
③はなだった。こんなことなら、もっとしっかりしておくのだったとしています。  
にはしなかったことについて、それをしておけばよかったとやんているちをす。しことばでは「…んだった」となるのが。  
2　…のだった＜＞　  
N／Na　なのだった　  
A／V　のだった  
①はそれがであるとりながら、をしたのだった。  
②このさながののきっかけとなるのだったが、そのはことのさにだれもいていなかった。  
「のだ①」のにじるが、のにして、あるのをもってべるにいられる。やなどのきことばにい。(467)

### 【のだったら】

N／Na　なのだったら　  
A／V　のだったら  
①なんだったら、そんなはだめだよ。  
②そんなにいなんだったら、むりにべなくてもいいよ。  
③こんなにいんだったら、もう1てるんだった。  
④A：そのパーティー、もきたいな。  
B：あなたがくんだったらもこうかな。  
いたことやのをし、「それなら」、「そのでは」、というをす。しことばでは「んだったら」になることがい。(468)

### 【のだろう】

N／Na　なのだろう　  
A／V　のだろう  
「のだ」と「だろう」がみわされた。しことばでは「んだろう」となることがい。  
1　…のだろう／…んだろう＜＞  
①さんはうれしそうだ。かいいことがあったのだろう。  
②はよくっている。よくんだのだろう。  
③きなスーパーマーケットができてもしないうちに、のはをやめてしまった。きっと、おをみんなどられたのだろう。  
④にしたのにこのようないがられたのには、かのがあるのだろう。  
⑤このはにれきがいい。きっとがなんだろう。  
のイントネーションをって、をす。「だろう」のに「の」がると、やについてのなど、あるについてのしのがふくまれる。  
2　…のだろう／…んだろう＜＞  
①A：10ぶりのだね。もくんだろう？  
B：うん、くつもりだ。  
②A：デイズニーランドにくの。  
B：え、また？もうもったんだろう？  
A：うん。でもおもしろいんだもん。  
③A：はだから、はしいんだろう？  
B：うん。まあね。  
④A：しいコンピュータったんだって？はなんだろう？  
B：ええ。にですよ。  
のイントネーションをって、をす。「の／ん」があるは、それまでのやなどからられたやをもとにしてするというみがじる。しことばでがうのが。「んだろう」のでうことがい。  
3　…のだろうか／…んだろうか  
①どもたちがにたくさんいる。はがみなのだろうか。  
②A：さんこのがないね。  
B：うん。もいし、のでもいのだろうか。  
③A：はだというのに、ったら、しようとしないんですよ。  
B：うん。あれでどこかのにれるんだろうか。だなあ。  
④A：さん、うれしそうね。  
B：ほんとだね。かいいことでもあったんだろうか。  
しがをいたり、したりするちをす。「のだろうか」は、しがからられたやなどにもとづいてしているときにわれる。(468)

### 【ので】

N／Na　なので　  
A／Vので  
①がりそうなのではします。  
②もういのでこれでいたします。  
③をひいたのでをみました。  
④は10からですので、9をればにうといます。  
⑤A：これからおでもどうですか。  
B：すみません、ちょっとがありますので。  
のでべたことがやとなってろのでべることがこるということをすのにう。のことがらとろのことがらのがにめられるのであるにいられる。そのため、ろにはすでにしたことやがながるのがで、しのをにしたうえでのなどのはいられにくい。  
がないのでげ。  
がないからげ。  
⑤のようにりのやいをべるのによくわれる。くだけたしことばでは「んで」となる。  
(469)

### 【のであった】

N／Na　なのであった  
A／V　のであった  
①はをめてにった。ようやくのあとをけてをぐがついたのであった。  
②ついににがれたのであった。  
をめてをする「のだった」のまったい。⇾【のだった】2  
(470)

### 【のである】

N／Na　なのである　  
A／V　のである  
①にはがかかりそうだ。はではないのである。  
②のところ、にきなはできないのである。  
「のだ」のまったい。⇾【のだ】  
(470)

### 【のです】

N／Na　なのです　  
A／V　のです  
　「のだ」のない。しことばではなにいられるが、は「んです」となることがい。  
1　…のです＜説明＞  
①くなってすみません。でにきまれてしまったのです。  
②をわせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。  
③ハヤプサはをめました。をつけたのです。⇾【のだ】1  
2　…のです＜主張＞  
①これからはあなたたちがこのをまもりさせてくのです。  
②やはりのえはっていなかったのです。  
③あなたはことのをしていないのです。  
④だれがなんとおうと、はをめるのです。⇾【のだ】2  
3　…のです＜話題のきっかけ＞  
①へってきたのですが、そこでさんにいましてね。わらずにんでいるようでした。  
②はするのです。それでごにうかがいたいのですが、ごはいかがでしょうか。  
たなをするときのきっかけをるために、そののとなることがらをすのにいる。  
4　…のですか  
①どうしてがだとわかったのですか。  
②さんはタフですね。なにかスポーツでもしているのですか。  
③A：もうおりになるのですか。  
B：ええ。ほかにもありますので。  
そののやそれまでののなどにして、きになんらかのをめるにいられる。  
5　つまり…のです  
①は、つまりあと5しかないのです。  
②がいたいのは、にをたなければならないということなのです。⇾【のだ】4  
6　だから…のだ  
①ずいぶんがいですよ。だからがいたかったのですね。  
②はをしていない。だからこのをせてもらえなかったのだ。  
③ここにすきまがあるようですね。そのためにがきんでくるのですよ。⇾【のだ】5  
7　…のですから  
①はあるのですから、ゆっくりやってさい。  
②ここまでたのだから、あともうです。⇾【のだ】6  
(470)

### 【のでは】

N／Na　なのでは　  
A／V　のでは  
①そんなになのでは、どこにもけませんよ。  
②なのではしかたがない。あしたにしよう。  
③こんなにいのでは、きょうのはたいへんだろうね。  
④こんなにたくさんのにられているのではしてしまうでしょう。  
いたことやをふまえて、それなら、そのでは、というをす。ろに「こまる」「たいへんだ」などなをすがる。しことばでは「なんじゃ」「んじゃ」のになることがい。(471)

### 【のではあるまいか】

⇾【ではあるまいか】

### 【のではないか】

⇾【ではないか2】

### 【のではないだろうか】

⇾【ではないだろうか】

### 【のではなかったか】

N／Na　なのではなかったか　  
A／V　のではなかったか  
　  
1　…のではなかったか＜疑問＞  
①のはがをぶなどということはえもしなかったのではなかったか。  
②にとってはこれもななのではなかったか。⇾【ではなかったか】  
2　…のではなかったか＜非難＞  
①あなたたちはをるとったのではなかったか。  
②これまではにしてきたのではなかったか。  
のでべられていることとはいうになったことで、きをしたりだというちをすのにいる。(472)

### 【のではなかろうか】

⇾【ではなかろうか】

### 【のに1】

N／Na　なのに　  
A－い／A－かった　のに　  
V－る／V－た　のに  
　  
1　…のに＜文中＞  
　をけ、「XのにY」ので、Xからされるとならず、それとはいったYになることをす。XとYは、したをし、Yにはかどうかがしていない、、、、、、、などのはいられない。  
がっているのにかけなさい。  
がっているのにかけたい。  
がっているのにかけるだろう。  
a　…のに＜逆原因＞  
①5なのにのようにい。  
②がいのによくする。  
③がっているのにかけていった。  
④ぎたのにまだってこない。  
⑤はなのににくんですか。  
⑥5なのにでこんなにいんだろう。  
「XのにY」のXとYのにがあるに、そのがしていないの。えば③のでは、「がっているのでかけなかった」というのがせず、することがらがにしていることをしている。のやいいにするしの・をうことがい。⑥はののをうで、・をしている。⑤はであるが、「のに」がなである。そのは⑤は、にかけようとしていることがしているで、「なのににく」ことをにい、こうしたについて「のですか」のでうだからである。これにして「のだ」がつかず、へくかどうかをう、のようなはである。  
はなのににきますか。  
b　…のに＜対比＞  
①はいいだったのにはだ。  
②あのははあまりでないのに、はうまい。  
③おさんはよくするのにはをよくサボる。  
XとYがをもたず、なをすの。えば②は、「がでない」「がうまい」というなをもつⅩとYをびけているもので、「あのはがでないのでがうまい」のようなをもつものではない。このの「のに」はのように「けれども」や「が」でいかえがであるが、「けれども」や「が」がなるをすのにし、「のに」にはXとYのびきがのからはずれていて「おかしい、だ」としがじているニュアンスをむ。  
あのははあまりでない｛けれども／が｝、はうまい。  
c　…のに＜予想外＞  
①するとっていたのに、だった。  
②にするつもりだったのに、うっかりれてしまった。  
③さんにはてほしかったのに、てくれなかった。  
④せっかくおいでくださったのに、しございませんでした。  
がはずれ、のとなったことをす。①～③では、Xに「…とっていた」「つもりだった」「てほしかった」のような、・・をすがいられ、それにするがYでべられている。④は「せっかくおいでくださったのに、（にしていて）しございません」のの（　）がされたもので、にするにするおわびのちをすがいたもの。  
2　…のに＜文末＞  
①スピードをすからをこしたんだ。ゆっくりれとっておいたのに。  
②るとあんなにくしたのに。  
③もっとくすればよかったのに。  
④あなたもればいいのに。  
⑤あと5ければににったのに。  
にいて、したとはいったになってだというちをす。しののにして、したりをすや、⑤のようにのによくいられる。  
3　せっかく…のに⇾【せっかく】5  
　  
4　Nでも…のに  
①でもせないのに、あなたにせるはずがないじゃないの。  
②でもこんなにいのに、ましてはどんなにいだろう。  
③こんなな、でもけるのに、どうしてえたりしたの？  
「Nならそうあるはずのことが、うとなった（ならせるとっていたのにせなかった）。Nでさえそうなのだから、それよりものいものはなおいっそう（であるあなたがすのはなおいっそうむずかしい）」というのをす。(472)

### 【のに2】

V－るのに  
①このはパイプをるのにいます。  
②はをにごすのにです。  
③をするのにはがです。  
のをけて、をす。「…するために」にいかえられるが、ろにくことばは「う」「だ」「だ」などにられており、「…するために」ほどではない。  
するのにをっている。  
するためにをっている。  
をけてじをすときは「Nに」となる。  
はのにだ。  
(474)

### 【のは…だ】

N／Na　なのは…だ  
A／V　のは…だ  
「XのはYだ」ので、きがすでにっていることやのつくことをXでべ、Yのできのらないしいことをべる。  
1　…のは　Nだ／N＋助詞＋だ  
①このことをにえてくれたのはさんです。  
②のうことをじているのはあなただけだ。  
③ここにうようになったのはの3からです。  
あることがらをにべて、そのことがらのにするやものなどをすのにいる。「だ／です」のにはか＋がくるがの「が」や「を」はいられない。  
このことをにえてくれたのはさんがです。  
2　のは…からだ  
①がにしたのは、のがかったからだ。  
②にったのはのをたしかめたかったからです。  
あることがらをにべて、そのやがであるかをべるのにいる。  
3　のは…ためだ  
①がれたのは、があったためだ。  
②らがにったのは、たちにうためだ。  
あることがらをにべて、そのやがであるかをべるのにいる。  
4　のは…おかげだ  
①がかったのはあなたのおかげです。  
②このがしたのは、みんながをわせてったおかげだ。  
ましいことがらをにべて、そのがであるかをべるのにいる。  
5　のは…せいだ  
①にきまれたのは、なのせいだ。  
②にけたのはがミスをしたせいだ。  
ましくないことがらをにべて、そのがなんであるかをべるのにいる。(475)

### 【のみ】

1　Nのみ  
①のみにっていてはしない。  
②ちのみがをするのだ。  
③のにされたのは、ののみだった。  
それだけとるをす。きことばなかたいにいられる。しことばでは「だけ」や「ばかり」がいられる。  
2　V－るのみだ  
①はった。あとはスイッチをいれるのみだ。  
②くしなければとるのみで、いっこうにがはかどらない。  
「それだけである」の。①のようにあるがわれるのにあることをすや、②のようにもっぱらそのばかりがわれることをすがある。「…するばかりだ」にいかえられる。  
3　Nあるのみだ  
①こうなったからはあるのみだ。  
②するためには、ひたすらあるのみです。  
「」「」「」などのをけて、「すべきことはそれだけだ」というをす。(475)

### 【のみならず】

1　…のみならず…も  
　  
NのみならずNも　  
NaであるのみならずNaでも　  
A－いのみならずA－くも　  
VのみならずNもV  
①いのみならずやにもがある。  
②でをかれたのみならず、もった。  
③はであるのみならずでもある。  
「それだけでなく、さらに…も」とつけえるのにいる。「だけでなく…も」のまったきことばな。  
2のみならず  
①はそのによってでなをた。のみならず、でもくをられることとなった。  
②はありあまるにまれていた。のみならずはでもあった。  
にべたことをけて、それだけではなくというをす。ほかにものものがあることをする。まったきことばな。(476)